

**研究名：**回復期病棟入院患者の退院時 ADL 予測における骨格筋量指数(SMI)測定の有用性について

**研究責任者：** リハビリテーション科 職名 医師 氏名 南出 圭介

**研究の背景・意義・目的：**

近年、サルコペニアは高齢患者の予後や身体機能低下と関連することが報告されている。骨格筋量指数（Skeletal Muscle Mass Index: SMI）はサルコペニアの主要構成要素の一つであり、身体機能との関連が示唆されている。

本研究の目的は、入院時 SMI が退院時 ADL の予測因子となるかを検討することである。

**研究の方法：**

・対象となる患者さん

2024年10月～2025年9月に当院回復期病棟を退院し、入院期間中に In-BODY の測定を行った方。

・研究期間 院長の研究実施に関する決定通知発行後～2029年3月31日まで

・利用する検体、カルテ情報

カルテ情報 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、In-BODY）

・検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

**研究組織：**この研究は、当院のみで実施されます。

**個人情報の取扱い：**

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

**研究計画書等の公表：**

この研究に関連した各種データについて知りたい場合は、担当医師を通じてその情報の開示を求めることができます。また、ご希望があれば、研究計画書や研究の方法に関する資料の閲覧や、ご提供することも可能です。ただし、他の患者さんの個人情報や研究の知的財産等など、情報の種類によっては開示できないものがあります。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、ご自身の検体やカルテ情報を当該研究に利用することをご了解できない場合などは、研究対象とはしませんので、研究責任者までお申し出ください。その場合でも皆様に不利益が生じることはございませんのでご安心ください。

<問い合わせ先> 独立行政法人国立病院機構 東京病院  
リハビリテーション科 氏名：南出 圭介  
住所 東京都清瀬市竹丘 3-1-1 電話：042-491-2111（代）

独立行政法人国立病院機構 東京病院 院長